



病診連携通信

第5号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂総合病院
平成27年4月

内視鏡治療のご案内（粘膜剥離術及び切除術）

最近における医学の進歩は目覚ましく、内視鏡の分野でもファイバースコープの進歩・改良と術者の技術力向上とが相俟って、10年ほど前より治療手技の適応が拡大されています。

当院でも食道、胃、大腸の内視鏡検査に加えて、腫瘍切除術(Polypectomy、EMR、ESD)、止血術、拡張術(ステント挿入も含む)、造設術等の内視鏡治療を行っています。

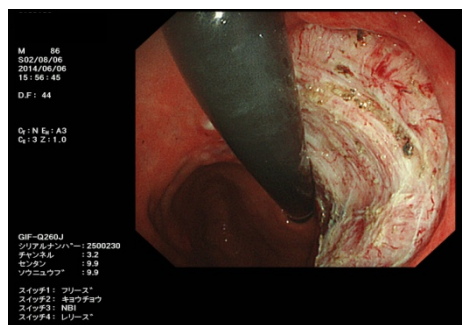
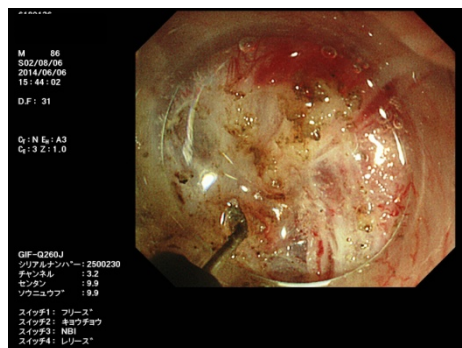
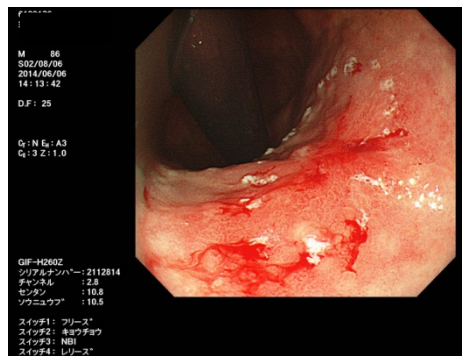
前年度の上部消化管治療実績(表1)をみると、単純なPolypectomyは少なく、より高い技術を必要とされるEMR(Endoscopic submucosal resection: 切除術)、さらにはESD(Endoscopic submucosal dissection: 剥離術)の症例が多くなっています。ESDは早期がんで保険診療がみとめられた治療法です。病変部分をより広範囲に切除できることから、その有用性が高く評価されており、当院でも数年前から施行しています。症例ごとに治療方針や術適応について検討し、より確実な治療を提供できるよう心がけています。

また、内視鏡および周辺機器(高周波電源装置、止血鉗子、スネヤ、キャップ等)を整備し、上部下部あわせて119例の緊急止血術を実施しました。

内視鏡検査・治療が必要と思われる患者さんがおりましたら、気軽にご相談、ご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

(消化器内視鏡科; 齋藤伸一、本田悌一郎)

早期胃がん内視鏡治療例



(表1 平成26年度 内視鏡治療実績)

上部内視鏡数	1387	上部EMR	15	下部ポリペク	52
下部内視鏡数	919	上部ESD	21	下部EMR	124
ERCP数	69	上部EVL	3	下部ESD	8
上部ポリペク	3	上部止血術	67	下部止血術	52

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせは

寿泉堂総合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または

☎024-932-6363 (代表)

をお願い致します。